

第60回 県展入選作品の紹介 (4)



写真部門
「早春の海岸にて」



風間正樹さん
(小須戸)

本当の主人公は、季節です。子供は、季節を表すわき役にすぎません。冬が去り、あたたかい陽ざし…。希望を感じます。これから春が始まる。そういう写真です。

写真部門

「メーキャップ」



島倉秀衛さん
(新保)



昨年(2004年)の月湯祭り。ヨサコイ踊り前の親、娘でメーク中の一コマです。



楽しかった、感謝の交流

地域に感謝する集い

ほほえみ作業所
八月四日(木)に、ほほえみ作業所で「地域に感謝する集い」を開きました。参加者は小向の区長さん、寿会と子供会の皆さん、丸井化学の方々です。作業所周辺の草とりや雪囲いから、古紙やアルミ缶の回収まで、地域ぐるみの力強いご支援に感謝しています。子供会は毎年遊戯室を雑巾

参加者募集

小須戸地区ゴルフ大会
(旧町民ゴルフ大会)
日時 十月十日(祝)
会場 湯田上カントリークラブ
参加資格 当地区在住者、勤務者、学区出身者
参加費 四千円
申込先 公民館及び地区幹事
締切 九月二十五日(日)
主催 ゴルフ大会実行委員会
※詳しくは新聞折り込みチラシをご覧ください。

シリーズ 「今、子どもたちは」 (108)

新潟市の大会に参加して 矢代田小学校
昨年度まで、小須戸町の五年生を対象に町親善陸上大会が行われていました。中学校入学を前に親睦を図り全員が選手として参加できる大会でした。
今年度新潟市合併によって新潟市陸上記録会に参加することになりました。希望する児童を職員が種目ごとに担当し、保護者の協力も得て短い期間でしたが練習しました。新潟市になって、子どもたちには自分から望めばいろいろなチャンスが広がってききました。規模の大きな大会、すばらしい会場、大勢の選手から感動や刺激を受けたことでしょう。また、水泳記録会にも参加しました。



頑張れ！ 自分の力いっぱい

シリーズ 活動の集だち

楽しさ一番のピンポン…?!

代表 風間 ヤヨエ



楽しさいっぱい…ハイ、にっこり!

五年前、たまたま気の合った者同志が集まり、体力づくりに何かをと言う話になり、始めたのが私達のピンポンを楽しむ会です。愛好者十名で週一回、公民館三階で楽しく続けています。

あくまでも、卓球ではなく年齢に合った適度な運動、それが私達のピンポンです。先ずは軽い体操に始まり、前半は経験者によるラリーのお相手もあり、一応形にはこだわりもあります。そして、後半はまったくの遊び心で独自のゲーム方式で楽しんでおります。ゲームでリーダーを兼ねた時の快感、それに心地よい汗を拭きながらの雑談など遠慮気兼ねのいらぬグルーブです。最近では体力づくりよりも、ジョークの応酬などで腹の底から笑い合う方が多い様ではあります。私達は、いつ、誰とどこにでも「ピン」「ポン」の会話が弾む雰囲気大切に毎週楽しんでおります。

声の広場

～みなさんの投稿コーナー～

戦争体験話を聞いて

私自身が、戦争体験者から話を聞いたことがなく、子ども達に戦争について伝えていないことに気付きました。辛い話を話すこと自体が辛いだろうに、話して下さったことをとてもありがたく思います。

B29は飛行機?、爆弾?というように子ども達は日本がしてきた戦争について知りません。イラク戦争を見ている今の子供達の戦争観も違うと思います。

お二人の話を聞いて子ども達は、イメージがわからなかったかも知れませんが、「辛かったな、かわいそうだな」という気持ちは心に残っていると言っていました。

戦争があったことを昔話にしてはいけない。記憶するだけでなく、話を聞いた時の心の痛みも残して次世代へ伝えていけたらと思います。

「今思うと僕達の方が平和」そう気付くことが大切。平和な未来を創っていくのはこの子ども達なのだから。

戦争を語り継ぐ事の大切さを実感しました。

高田 有子

(新潟市寺尾西在住)



※ 去る8月3日の萱森さん、石田さんの「戦争体験」の話を聞いての投稿記事です。

ちょこっと一言

(210)

「子供に学ぶ」

我が家には、五歳になる娘と二歳の息子が居ます。毎日飽きないのかなと思うくらい同じ事でケンカをしているのですが、このお宅でもそうなのでしょうか。初めはどうするのかわからず様子を見ていた私も、最後はどなり声に。(昔はこんな私ではなかったよな。)

私の母はよく「子供が親を大人

小須戸

渡辺 恵美さん



にしてくれる」といいます。自分一人でも自由にしていた頃とは違い、子育てを通していろいろな事を学び、感じるようになりました。時にはイラだってみたり、安らいでみたり。子供は私にいろいろな感情を与えてくれます。子育ては大変だと思ってもありますが、これからは子供達の成長と共に、私も一緒に成長していく事を願うばかりです。

文芸欄

曇天ののらりくらりと五月鯉

間野良遊

電柱に登るつもりの花南瓜

丸山虚秋

下閉の棚を灯して岩ちどり

関根紀男

日焼けして今日一日の手を洗ふ

長井武雄

夏帽子ポニーテールと言う植木

須藤恵美子

百才の十三回忌藤の花

藤井 春

牡丹を供へ至福に包まれり

東樹ちよ

ベタル踏む少女の髪に若葉風

井本マツ子

種蒔きし子も二児の父ヒワ熱れる

風間幸子

ユニホーム見ても補欠と書いてない

渡辺信子

減反を揃った稲穂嘲笑い

岡田良平

下手な字も揃っている子を褒める

増井都留

権力へ一歩も退かぬ雑魚の群れ

高橋ただし

お詫び 今月は紙面の都合上、「虫食川柳」を、お休みします。

虫食川柳 8月号の回答 ① 罅あれは何も要らないなんて嘘 (正解率33.3%) ② 人間も逃げたが罅も逃げてゆき ③ 罅割にされて大地を知らぬ松

④ 大声で言う正しいような嘘 ⑤ 寝言まで罅割になっている夫婦

ふれあい電話相談

教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。

◆10月の相談日

◆受付時間 午後1時～5時
◆電話番号 38-3300
◎お名前、言わなくていいです。